

(7) 教育諮問会議**① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

教育諮問会議は、本学の教員養成の質の向上と研修機能の強化に資することを目的に次に掲げる事項について学長の諮問に応じ意見を述べる機関として、平成 26 年度に設置された。

- i) 本学が養成する人材像に関する事項
- ii) 本学のカリキュラムに関する事項
- iii) 現職教員の再教育の在り方に関する事項
- iv) その他本学の教員養成の質の向上及び研修機能の強化に関する事項

イ 組織の構成及び構成員等

教育諮問会議は、学長が委嘱する学外有識者の委員をもって組織することし、令和 3 年度における構成員は次のとおりである。（令和 3 年 12 月 1 日現在）

議長	多田孝志	金沢学院大学 文学部 教育学科 教授／学科長
副議長	梅野正信	学習院大学 文学部 教育学科 教授
	(以下氏名略)	金沢工業大学 基礎教育部 教職課程 教授
		東京学芸大学 副学長・事務局長
		新潟県教育委員会 教育次長
		新潟市教育委員会 教育次長
		上越市教育委員会 教育長
		長野県教育委員会 教育次長
		新潟県小学校長 会長
		新潟県中学校長 会長

② 運営・活動の状況**ア 委員会等の開催状況**

令和 3 年度は、対面により 12 月 24 日（金）に 1 回開催した他、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、予防対策の観点から、令和 4 年 3 月に書面による審議を行った。

イ 審議された主な事項等

学長からの「社会の動向を踏まえた今後の上越教育大学の改革の方向性」に関しての諮問を受け、次代に生きる児童・生徒の教育を担う、総合的な「人間力」を備えた質の高い教員の養成に向けた、今後の上越教育大学の取組の在り方について取りまとめ、令和 4 年 3 月 25 日（金）に学長へ答申を行った。

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

学長からの諮問に対して、有識者、教育委員会、学校現場のそれぞれの立場から活発な意見が寄せられ、議長が中心となり意見を集約し、教職大学院の学校実習「学校支援プロジェクト」の今後の在り方、大学院での学びと現職教員としての研修の関係と接続の可能性など、上越教育大学の今後の取組に関して、答申として取りまとめた。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

特になし。